

令和4年度(2022年度)改定版

長房中学校区 地域づくり推進計画

地域の将来ビジョン

多文化・多世代がつながり
みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房
～みんなで描く幸福度の高いまちづくり～



目次

1 はじめに.....	1
2 地域づくり推進計画について.....	2
3 地域概要.....	3
(1) 概略.....	3
(2) 特徴.....	3
(3) 人口.....	4
(4) 歴史・文化.....	6
(5) 地域活動.....	7
(6) 地域資源マップ.....	8
4 地域の将来ビジョン.....	10
5 共通テーマと検討の視点.....	12
6 アクションプラン.....	13
(1) アクションプラン一覧.....	13
(2) アクションプラン概要.....	14
7 地域づくり推進体制.....	19
8 資料編.....	20
(1) 地域づくり推進会議参加者.....	20
(2) 令和4年度(2022年度)の活動概要.....	21
(3) 長房中学校区(長房町・城山手)の地域づくりに関するアンケート調査.....	22

1 はじめに

私たちの長房中学校区には、国史跡船田石器時代遺跡や武蔵陵墓地、およそ1,000匹の鯉のぼりが風に舞う長房ふれあい端午まつりなど、古くからの歴史や文化があります。地域内には大規模団地のほか、令和3年(2021年)には大型商業施設がオープンし、賑わいを見せている一方で、高齢化や児童・生徒数の減少などの地域課題に直面しています。

そこで私たちは、令和3年(2021年)6月に地域づくり推進会議(以下「推進会議」という。)を立ち上げ、長期的な視点から地域のありたい姿(将来ビジョン)を決定し、地域における様々な現状や課題を整理しました。そして、その将来ビジョンの実現に向けて優先的に取り組むべき項目とその実行計画についてアクションプランとしてまとめ、令和4年(2022年)3月に「長房中学校区地域づくり推進計画(以下「推進計画」という。)」を策定しました。

令和4年度(2022年度)は、新たなメンバーも加わり、推進計画に基づき「地域情報の発信力の強化」に取り組みました。なかでも地域施設の情報発信として行った取組では、商業施設との連携により、多くの人たちに魅力的な地域情報を発信することが可能となりました。このような取組を進める中で、団体の垣根を超えた活動など、地域の活性化や課題解決に向けてさらなる取組の充実を図るため、この度、推進計画を改定することとしました。

推進計画の改定にあたっては、推進会議での議論のほか、「地域フォーラム」において推進会議参加者以外の幅広い世代の地域の方々に参加いただき検討を行いました。

私たちの地域を「みんなが安心して楽しく暮らすまち」にするため、自分たちで取り組んでいきたいことを本計画にまとめました。地域の将来ビジョンを実現するためには、地域に関わる皆さんの参加が必要です。本計画を一人でも多くの方に御覧いただき、長房中学校区の地域づくりに参加していただければ幸いです。

令和5年(2023年)3月 長房中学校区地域づくり推進会議

2 地域づくり推進計画について

私たちは、「八王子市地域づくり推進基本方針」に基づき、推進会議において検討を重ねながら、この推進計画を策定しました。

推進計画の内容は、地域の概要、地域の将来ビジョン、アクションプラン、地域づくり推進体制などで構成し、計画期間を5年としています。なお、地域を取り巻く環境は大きく変化することも想定されるため、必要に応じて見直しを図っていきます。

地域の将来ビジョンの実現に向けて、町会・自治会をはじめとする地域団体や住民、行政が連携を図りながら、地域全体で計画を共有し、アクションプランに基づく取組を進めていきます。

【構成】

地域概要	地域の概略、特徴、人口や歴史・文化などをまとめたもの。
地域の将来ビジョン	地域の魅力や課題を整理し、長期的な視点をもって決定した地域のありたい姿。
共通テーマと検討の視点	八王子市で設定する地域と連携して取り組んでいきたい「共通テーマ」と視点として取り入れてほしい「検討の視点」のこと。
アクションプラン	地域の将来ビジョンの実現に向けて、地域内で連携しながら取り組む内容。
地域づくり推進体制	アクションプランに基づく取組や新たな地域課題の検討及び対応等を行っていくための体制。
資料編	推進会議の参加者や、推進計画を策定するための活動概要などを掲載したもの。

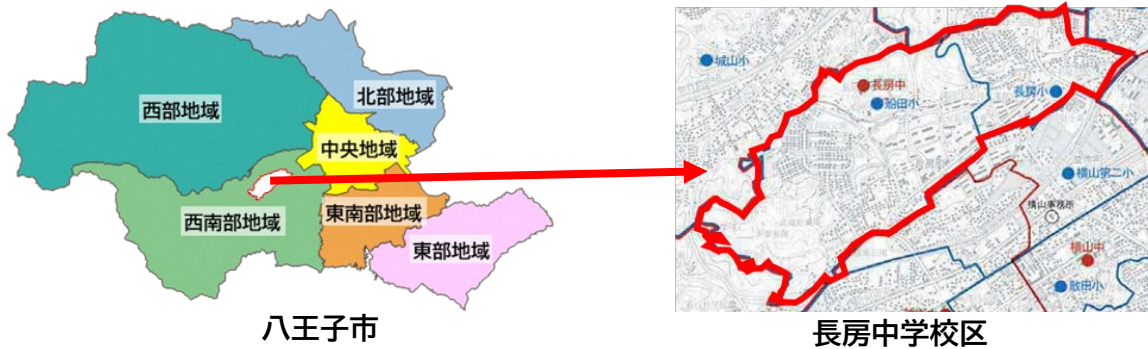
3 地域概要

長房中学校区の特徴、人口、歴史・文化や地域活動などをまとめました。詳細は、「長房中学校区地域カルテ」に掲載しています。ぜひ御覧ください。

(1) 概略

長房中学校区※は城山手の全域と長房町の一部から構成され、八王子市西南部に位置しています。南浅川の北側に広がる丘陵地帯です。

住民主体のお祭りも盛んで、長房ふれあい端午まつりなど地域の特色あるお祭りが行われているほか、八王子いちよう祭りにも参加しています。



※該当住所(地図赤枠内)

城山手一丁目全域、城山手二丁目全域

長房町 59～77、87、89～372、376～405、557、567、573、581、588、633～649
687、691～1480、1583～1590、1603～1619、1621～1832

(2) 特徴

■ 自然環境

南浅川沿いの桜並木や武蔵陵墓地の参道のケヤキ並木など、四季を通じて楽しめる自然があります。南浅川沿いには、サイクリングやウォーキングのために整備された「浅川ゆったりロード」があり、市民に親しまれています。



■ 交通

主要公共交通機関はバスです。西八王子駅や高尾駅へ向かうバスは1時間に3～5本程度運行されています。

バス: 西八王子駅、高尾駅、
京王八王子駅、城山手行きなど
電車: 西八王子駅まで徒歩 25～30分程度
高尾駅まで徒歩 35～40分程度

■ 産業

昭和37年(1962年)に建設が開始された都営長房団地への入居が始まった頃、商店街が誕生しました。その後、平成12年(2000年)以降に団地の建て替えが進み、商業・医療・福祉施設がオープンしたことで、歩いて暮らせる生活圏の形成が図られています。



▲コピオ長房

(3) 人口



出典：令和2年国勢調査

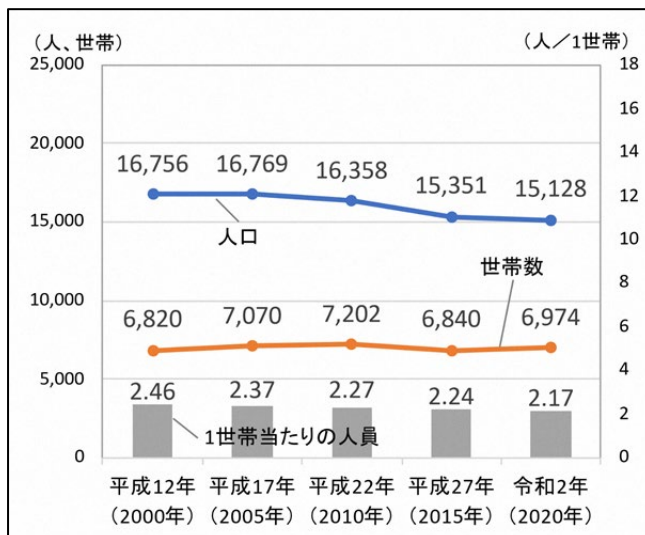
令和2年(2020年)10月1日時点の人口は15,128人で、世帯数は6,974世帯でした。今後、さらに高齢化が進んでいくことが予想されるなか、伝統ある地域の行事や団体活動の持続可能性を考えていく必要があります。

以下、長房中学校区の人口や世帯に関する経年の数値※を八王子市全体のものと比較しました。

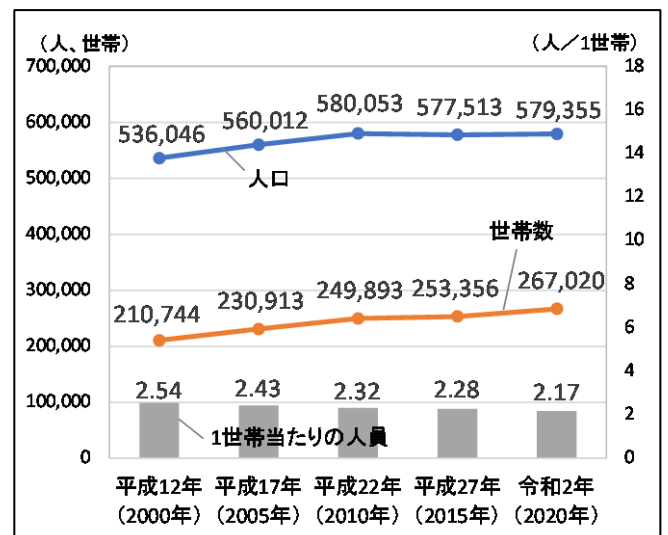
※ 数値は、通学区域に含まれる町丁目全域の数字を含めています。
 なお、該当住所は P3「3(1)概略」を御覧ください。

■ 人口・世帯数・1世帯当たりの人員の推移

<長房中学校区>

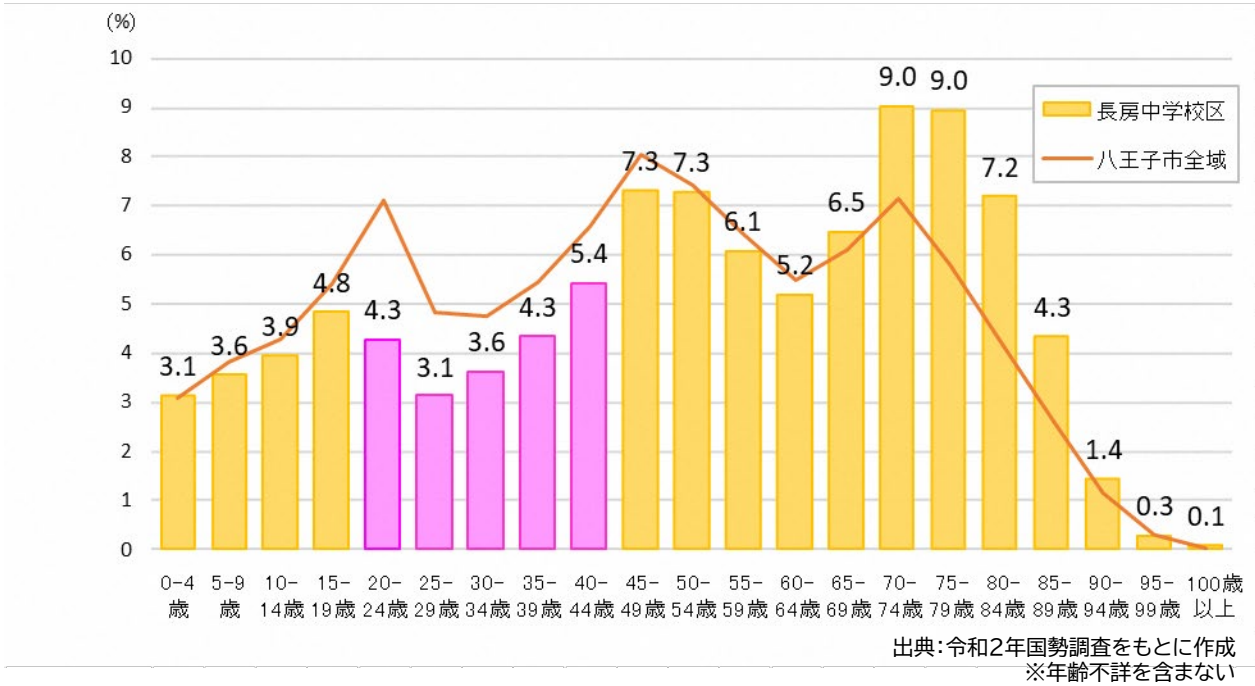


<八王子市>

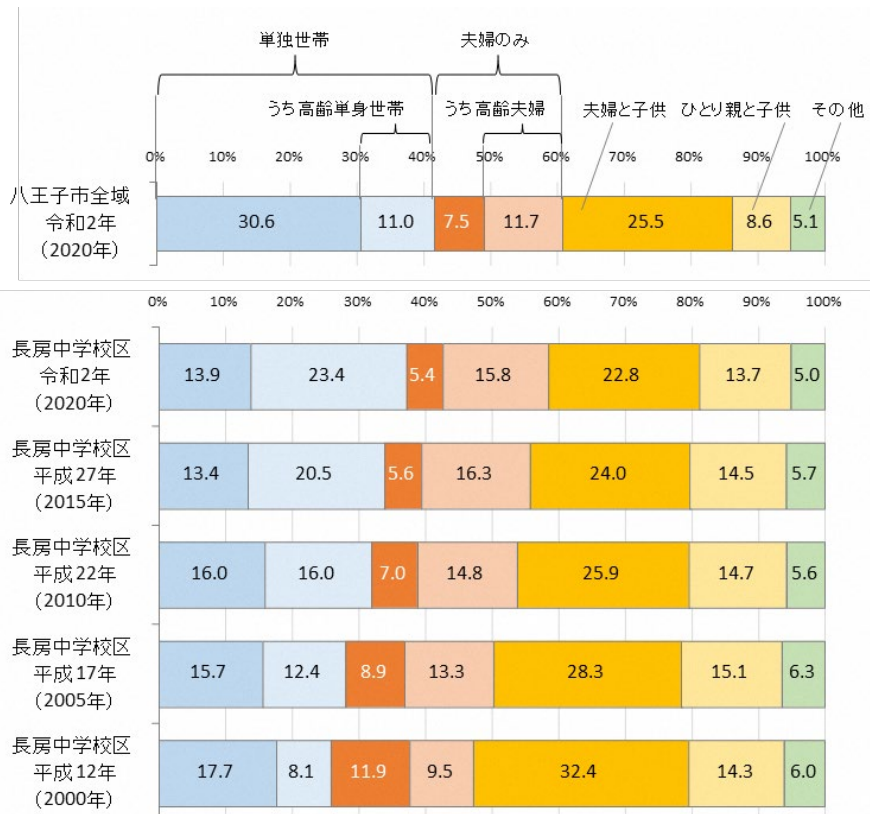


出典：国勢調査をもとに作成

■ 人口構成(5歳階級別人口構成)



■ 世帯の家族類型(構成比)



出典: 国勢調査をもとに作成

(4) 歴史・文化

歴史

長房中学校区内には、国史跡船田石器時代遺跡、船田遺跡、中郷遺跡などの遺跡が残されています。また、八王子市の顔に相応しい景観として、武蔵陵墓地や南浅川橋、南浅川の鯉のぼりが八王子八十八景に選ばれました。武蔵陵墓地のうち多摩陵・武蔵野陵は、東日本唯一の天皇陵でもあります。



◀武蔵陵墓地参道のケヤキ並木

そのほか、かつて長房にあった鉄道「御陵線」、陸軍幼年学校、船田の田んぼ、昭和39年(1964年)の東京オリンピックの自転車競技会場など後世に語り継がれる歴史が沢山あります。

文化(祭り、イベント)

地域全体のイベントといえば、長房ふれあい端午まつりです。毎年5月に、端午の節句に合わせて南浅川に約1,000匹の鯉のぼりが風に舞い、累計従事者は約900人、毎年1~2万人が訪れます。また、各町会・自治会単位での催し物も盛んに行われています。夏には納涼祭、秋には敬老のお祝いなど、日頃から地域交流が行われています。



◀長房ふれあい端午まつり

主な地域内の年間行事

- | | |
|-----------------|------------------|
| 4月: 各小・中学校入学式 | 10月: 横山北地区合同防災訓練 |
| 5月: 長房ふれあい端午まつり | 11月: 八王子いちよう祭り |
| 6月: 防災訓練(陵南公園) | 12月: 年末パトロール |
| 7月: 納涼祭、夏祭り | 1月: どんど焼き、もちつき大会 |
| 8月: 納涼祭 | 2月: 稲荷神社初午祭 |
| 9月: 敬老会または敬老の集い | 3月: 各小・中学校卒業式 |

(5) 地域活動

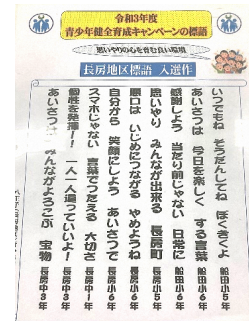
長房中学校区では、様々な地域団体や住民が活発に活動しています。本ページでは、主な団体等について紹介しています。

● 町会・自治会

各町会・自治会では、行事の開催や防災訓練の実施等、様々な活動をしています。長房中学校区の特徴としては、「支え合いネットワーク(地域を見守る体制づくり)」の運営があります。町会・自治会の枠を超えて地域全体で連携し、65歳以上の高齢者の見守りや安否確認の活動を行い、安心して住み続けられる地域とするために活動しています。

● 青少年対策地区委員会(以下「青少対」という。)

青少対では、クリーン活動をはじめとした様々な活動を行っています。また、長房中学校区の活動として、標語募集や三校地域交流会等を行っています。子どもや青少年について情報交換を行う「地域研修会」を開催し、地域と学校のつながりを支えています。



▲青少対健全育成キャンペーンの標語

● 放課後子ども教室

長房小学校、船田小学校で平日(月～金)に開催され、自由遊びの機会や自由学習環境を提供しています。長房小学校は、地域の有志で運営しています。



▲長房小学校の放課後子ども教室

● 長房ファーム

長房ファームとは、長房小学校に隣接する地域ぐるみで野菜の栽培を行う畑のことです。子ども、保護者、教員をはじめとし、学校運営協議会、地域住民、高齢者あんしん相談センター長房などが関わり、多世代で交流しながら野菜を育てています。



▲長房ファームの入口

● サークル活動

長房市民センターや長房ふれあい館では、スポーツ、武道、音楽、アート、料理等に関する様々なサークル団体が活動しています。詳細は、長房住民協議会や長房ふれあい館のホームページで御覧いただけます。

● 高齢者サロン(「ふれあい・いきいきサロン」「自主サロン」)、シニアクラブ

高齢者サロンが8団体、シニアクラブが8団体あります。各サロンでは、月に1・2回程度の活動を行っており、各シニアクラブでは、知識や経験を生かした地域貢献活動などに取り組んでいます。なかには、地域と連携したハロウィンなどを開催している団体もあります。

(6) 地域資源マップ

ながぶさ

—地域資源マップ—

長房中学校区には、自然、歴史、お店など、地域の宝がたくさんあります。地域資源マップ片手に、お散歩しませんか。



1

御陵線の橋脚



昔長房を走っていた御陵線の橋脚が残っています。…P24

2

幼年学校跡地の長房団地



1944年から1945年には陸軍幼年学校がありました。…P24

3

船田の田んぼ



長房団地造成前の船田には田んぼが広がっていました。…P25

4

1964年の跡地の跡



1964年の東京五輪で自転車競技が開催された跡地です。



災害時の避難場所 …P22

- ① 陵南公園
- ② 長房小学校
- ③ 船田小学校
- ④ 長房中学校
- ⑤ 富士森高等学校
- ⑥ 長房市民センター

地域とつながるお店 …P26-27

- ① 和気
- ② フィノッキオ
- ③ 寿司 一心
- ④ EBINOKAKATO
- ⑤ はる太郎
- ⑥ お菓子の工房 ひろ
- ⑦ GUARDA 楽
- ⑧ ～ウッチュム～ Taste of Tibet
- ⑨ チェチュ
- ⑩ 梅屋蒲鉾店

AED
 車椅子使用者等優先トイレ
 赤ちゃん・ふらっと
 *ピンク枠内が長房中学校区



1964年五輪会場跡地の陵南公園

東京五輪では、陵南公園で大会が開催されました。…P25

⑤ 武蔵陵墓地 (多摩陵・武蔵野陵)

大正天皇、昭和天皇が眠る東日本唯一の天皇陵です。…P1

⑥ 長房ふれあい端午まつり

毎年5月になると、浅川沿いが賑わいます。…P3

⑦ 長房ファーム

長房小学校では、地域ぐるみで畑を運営しています。…P23

※詳細は、地域カルテの該当ページに記載しています。

4 地域の将来ビジョン

推進会議などでありたい姿について検討を行い、以下の地域の将来ビジョン(目標)を掲げました。

長房中学校区の将来ビジョン

多文化・多世代がつながり みんなが安心して楽しく暮らすまち 長房
～みんなで描く幸福度の高いまちづくり～

◇ 将来ビジョンに込めた思い

「多世代交流／多文化・多世代」、「つながり」、「安心・安全」、「幸福」等のキーワードをもとに、地域に関わるあらゆる人たちが安心して暮らすことのできる地域を皆でつくっていきたいという思いから将来ビジョンを決定しました。

魅力と課題

【魅力】

(ア) 既存コミュニティに関すること

- ・ 季節のイベントやお祭りが多い
- ・ 各団地の号棟ごとに自治会長がおり、町会・自治会活動が盛んである

(イ) 暮らしに関すること

- ・ 自然と便利さ(買い物・病院等)が両立している
- ・ 駅までのアクセスが良い
- ・ のどかで住みやすい

(ウ) 地域施設に関すること

- ・ コピオ長房の誕生により、住民が集う場所ができた
- ・ 古くからの商店街がある

(エ) 歴史・文化に関すること

- ・ 国史跡船田石器時代遺跡や南浅川橋など、古くからの歴史がある

(オ) 自然・四季に関すること

- ・ 山、川、桜並木などがあり自然豊かである
- ・ 公園が多く、緑が多い

【課題】

(ア) コミュニティの希薄化

- ・ 新しい住民との関わりが少ない
 - ・ 高齢者の孤立化が進行している
-

(イ) 交流機会・居場所の不足

- ・ 多世代交流の機会や場所が少ない
 - ・ 町会・自治会に加入している人しか参加できないイベントがある
-

(ウ) マンパワーや活動の担い手の不足

- ・ 地域活動への参加方法が分からない
 - ・ 60代が地域活動にうまく参加できていない傾向にある
 - ・ 次世代の地域活動を担う人材が不足している
 - ・ 小・中学校において地域の歴史などを教える人材が不足している
-

(エ) 施設整備の不足

- ・ 身近に安全・安心に避難できる場所が少ない(学校など)
 - ・ 街路灯や公園のトイレが少ない
-

(オ) 情報発信・共有の不足

- ・ 地域情報の発信をしているものの地域住民に伝わっていない
 - ・ 世代によって情報収集の媒体が異なるため、情報発信の工夫が必要
 - ・ 若い世代は広報や回覧板を見ないため、地域情報を入手しにくい
 - ・ 個々の地域情報の発信には限界があり、連携して行う必要がある
-

(カ) 災害時の対応

- ・ 身近な避難場所が少ない
- ・ 都営団地では高齢化もあり、在宅避難者が多いことが想定される

※ **魅力と課題**は、長房中学校区(長房町・城山手)住民アンケートの結果や推進会議での主な検討内容を項目ごとに整理したものです。

地域づくりを進めるうえでは、今ある**魅力**を活かしながら**課題**解決に向けて取り組んでいく必要があります。これらを踏まえ、住民主体で無理なく楽しく進めていける取組について検討しました。

5 共通テーマと検討の視点

八王子市では、2040年を見据えた長期的な取組や市が抱える課題の中で、地域と連携して取り組んでいきたいことを「共通テーマ」とし、また、地域での取組を検討するにあたり、視点として取り入れてほしいことを「検討の視点」として、それぞれ以下のとおり設定しています。

私たちは、この「共通テーマ」と「検討の視点」を取り入れながら新たな取組について検討を重ね、アクションプランとして決定しました。今後、地域の将来ビジョンの実現に向けて、行政と連携しながら、地域全体で取り組んでいきます。

【共通テーマ】

カーボンニュートラル

- 近年、地球温暖化による気候変動の影響と考えられる集中豪雨や台風の大型化などの異常気象が、世界各国で発生しています。
- 一人ひとりの意識の醸成や脱炭素型ライフスタイルへの転換などにより、脱炭素社会の実現を目指します。

地域防災

- 地球温暖化による気候変動の影響は、近年、気象災害の頻発など顕著に現れており、本市でも、台風や集中豪雨による浸水被害が発生するなど、市民生活に大きな影響をもたらしています。
- 将来起こる災害による被害の回避、軽減に向け、様々な関係者との協働による防災力の向上を図っていきます。

公共施設マネジメント

- 社会情勢の変化やニーズに対応した行政サービスを安定的に提供していくため、公共施設等の維持管理、修繕、更新等に長期的な視点で取り組んでいくことが必要です。
- 次世代に大きな負担を残さず、将来にわたり住みよいまちづくりを実現するために、市民と行政との協働により、公共施設マネジメントを推進していきます。

【検討の視点】

DX(デジタルトランスフォーメーション)

- 人口減少や地球温暖化などの社会環境が変化するなか、環境・社会・経済の持続可能性を向上させていく必要があります。
- デジタル技術やデータの活用により、人とひととのつながりを深め、誰一人取り残されることなく地域の中で支え合い、豊かな暮らしを実現していく地域共生社会を目指しています。

6 アクションプラン

地域の将来ビジョンの実現に向けて、私たちが令和4年度(2022年度)から取り組む「地域情報の発信力の強化」に加え、地域主体、また地域と行政が協働しながら課題解決に取り組んでいくためのアクションプランを定めました。

今後、取り組んでいく際には、設定された「共通テーマ^{※1}(カーボンニュートラル、地域防災、公共施設マネジメント)」と「検討の視点^{※1}(DX)」を意識していきます。また、活動する中で改善点を洗い出し、随時見直しを行いながら進めていきます。

(1) アクションプラン一覧

- 地域情報の発信力の強化

課題:(オ)情報発信・共有の不足

- 地域住民の交流の活発化

課題:(ア)コミュニティの希薄化 (イ)交流機会・居場所の不足

- 地域の支え合いの醸成

課題:(ア)コミュニティの希薄化 (イ)交流機会・居場所の不足

- 未来につながる学校づくり

課題:(イ)交流機会・居場所の不足 (エ)施設整備の不足

※ 課題の詳細は、P11に掲載しています。

【取組項目】

- 地域情報の発信力の強化

- 地域施設での情報発信
- SNSを活用した情報発信

- 地域住民の交流の活発化

- ハロウィンイベント
- マルシェ
- 地域イベントでの情報発信

- 地域の支え合いの醸成

- 地域食堂「みんなの食堂」
- 目的別教室


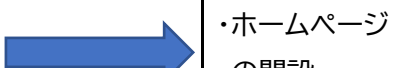

- 未来につながる学校づくり

- 公共施設部会^{※2}での意見交換





※1 「共通テーマ」と「検討の視点」の詳細は、P12に掲載しています。



※2 公共施設部会の詳細は、P17(内容)と P19(体制)に掲載しています。


(2) アクションプラン概要

アクションプラン	地域情報の発信力の強化				
目的	▶ 地域づくりや地域の活動に関心を持ってもらい、活動に参加する住民を増やす				
効果	▶ これまで情報が届いていなかった住民にも、地域の情報を伝えることができる ▶ 地域の活動に参加する住民が増え、活動が活性化する				
取組	地域施設での情報発信			SNSを活用した情報発信	
共通テーマと検討の視点※				▶ DX	
実施概要	▶ 地域内にある商業施設、公共施設など住民が多く集まる場所で、地域の活動に関する情報を発信する ▶ コピオ長房と連携し、掲示板、モニターなどを活かして、チラシの掲示や動画上映などを行う			▶ SNSやホームページを使って、地域の活動や推進会議の活動を発信する ▶ SNSの強みを活かして、地域の魅力(イベント・祭り、季節の見どころなど)の紹介、活動やイベントの参加者募集などに活用する	
ターゲット	▶ すべての住民			▶ すべての住民(特に若い世代)	
場所(会場)	▶ コピオ長房				
課題	▶ 施設との協力体制及び依頼方法 ▶ チラシなどの印刷方法及び資材調達 ▶ 情報収集及び情報更新の方法 ▶ 運営スタッフの確保			▶ 管理・運営ルールの構築 ▶ 発信するコンテンツの更なる検討 ▶ 運営スタッフの確保	
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地域施設での情報発信	・発信方法の検討 ・コピオ長房での試行発信	・発信内容の充実や活用施設の検討 ・コピオ長房での発信	・地域施設での発信(随時拡充) ・地域全体に対する発信情報の募集		
SNSを活用した情報発信	・発信や管理・運営ルールの検討 ・試行発信	・発信媒体や管理、運営ルールの検討 ・SNSのアカウント開設 ・発信開始	・ホームページの検討 ・地域全体に対する発信情報の募集 ・発信継続	 	








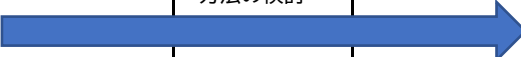
※ 共通テーマと検討の視点は、八王子市で設定する地域と連携して取り組んでいきたい「共通テーマ」と視点として取り入れてほしい「検討の視点」のこと。詳細は、P12に掲載しています。

アクションプラン	地域住民の交流の活発化				
目的	▶ 多世代・さまざまな地域住民が集まり交流する場を通じて、住民同士が知り合うきっかけをつくる				
効果	▶ 住民同士の交流、つながりを育む ▶ 地域のさまざまな活動を知る ▶ 既存活動や新たな取組に対する担い手が増える				
取組	ハロウィンイベント	マルシェ		地域イベントでの情報発信	
共通テーマと検討の視点		▶ カーボンニュートラル			
実施概要	▶ 長房東団地のハロウィンイベントを地域全体に広げ、多世代が交流できるイベントとして実施する	▶ 会場を設けて、地域からさまざまな人が出店できるマルシェを開催する ▶ 不要品販売などにより地域のゴミ削減を図る	▶ 住民が集まるイベントで地域づくりに関する活動を紹介、発信する ▶ カーボンニュートラルに関する情報を発信する		
ターゲット	▶ すべての住民	▶ すべての住民 (特に子育て世代)		▶ イベント来場者	
場所(会場)	▶ 長房東団地～コピオ長房 ▶ 長房北団地の公園	▶ コピオ長房の西駐車場 ▶ コピオ長房前の公園 ▶ 長房北団地の公園		▶ イベント会場	
課題	▶ 予算及び会場の確保	▶ 予算及び会場の確保 ▶ 運営スタッフの確保 ▶ 出店者への呼びかけ方		▶ 情報発信の方法	
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
ハロウィンイベント	(長房東団地、桜台団地による個別開催)	・開催内容の検討 ・複数団体での開催	・長房全体での開催に向けた検討 	・長房全体での開催	
マルシェ		・開催内容の検討 ・実行委員会の組成 ・小規模な試行	・開催回数の検討 ・既存イベントとの共同開催	・単独開催	
地域イベントでの情報発信	・発信方法の検討 ・発信するイベントの選定	・各イベントでの情報発信 ・地域全体に対する発信情報の募集			

アクションプラン	地域の支え合いの醸成				
目的	▶さまざまな地域住民が集まり交流することで、地域内の支え合いを醸成する				
効果	▶多世代の住民同士の交流、つながりのきっかけが生まれる ▶地域人材の活躍の場が生まれ、いきがいにつながる ▶関心が高い防災やデジタルに関する知識を地域全体で高めることができる				
取組	地域食堂「みんなの食堂」		目的別教室		
共通テーマと検討の視点	▶カーボンニュートラル		▶地域防災 ▶DX		
実施概要	▶高齢者サロンの活動をもとに、地域住民が誰でも参加できる多世代交流の地域食堂を開催する ▶商店や家庭のフードロス削減の取組、地元農家と連携する		▶地域ニーズを把握し、目的別教室を開催する (例)防災教室 防災に詳しい方(有資格者や消防団、自主防災組織の団員)が講師となり、興味がある人向けの講座を行う (例)スマホ教室 大学生や高校生が講師となり、地域の高齢者にスマートフォンの操作方法等を教える教室を開く		
ターゲット	▶すべての住民(特に子どもや高齢者)		▶すべての住民(特に高齢者)		
場所(会場)	▶長房東団地集会所 ▶コピオ長房のコミュニティスペース		▶長房ふれあい館 ▶コピオ長房のコミュニティスペース		
課題	▶保健所等に対する申請方法 ▶予算及び会場の確保 ▶運営スタッフの確保 ▶情報発信の方法		▶場所の確保 ▶地域人材の掘り起こし方法 ▶情報発信の方法		
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
地域食堂 「みんなの食堂」	・試行 ・実施内容及び 場所の検討	・担い手の募集 ・実施内容の見 直し ・定期的な開催	・定期的な開催		
目的別教室		・既存講座の情報 収集 ・実施内容の検 討 ・防災教室の開 催	・開催頻度の検 討 ・試行実施 ・防災教室開催 エリアの拡大	・定期的な開催	

アクションプラン	未来につながる学校づくり				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域の核としての未来の学校のあり方や施設の利用方法について考える ▶学校に集う子どもたちと地域のこれからの関係性について議論する 				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ▶学校のありたい姿に地域の思いを反映することができる ▶地域の実情に応じた施設利用を行うことができる 				
取組	公共施設部会での意見交換				
共通テーマと検討の視点	▶公共施設マネジメント				
実施概要	<p>▶地域住民や活動団体と行政のそれぞれの関係者で構成する「公共施設部会」を設置し、情報共有や意見交換を行う。</p> <p>※ 部会メンバーは、推進会議参加者及びその他の学校関係者等で構成し、必要に応じてメンバー追加を行う。</p>				
ターゲット	▶すべての住民				
場所(会場)	▶長房小学校、船田小学校、長房中学校				
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▶部会メンバー以外の意見聴取の方法(アンケートの実施等) ▶意見交換結果のとりまとめ方法(学校施設の地域利用のルールを明文化) 				
スケジュール	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
公共施設部会での意見交換		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設部会の設置 ・市との情報共有 			

【全体スケジュール】

部会※	取組	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
情報発信 部会	地域施設での 情報発信	・発信方法の検討 ・コピオ長房での 試行発信	・発信内容の充 実や活用施設 の検討 ・コピオ長房で の発信	・地域施設での 発信 (随時拡充) ・地域全体に対 する発信情報 の募集		
	SNSを活用 した情報発信	・発信や管理・ 運営ルールの 検討 ・試行発信	・発信媒体や管 理、運営ルー ルの検討 ・SNSのアカウ ント開設 ・発信開始	・ホームページ の検討 ・地域全体に対 する発信情報 の募集 ・発信継続		・ホームペー ジの開設
イベント 部会	ハロウィン イベント	(長房東団地、 桜台団地による 個別開催)	・開催内容の検 討 ・複数団体での 開催	・長房全体での 開催に向けた 検討	・長房全体での 開催	
	マルシェ		・開催内容の検 討 ・実行委員会の 組成 ・小規模な試行	・開催回数 of 検 討 ・既存イベントと の共同開催	・単独開催	
	地域イベント での情報発信	・発信方法の検 討 ・発信するイベ ントの選定	・各イベントでの 情報発信 ・地域全体に対 する発信情報 の募集			
支え合い 部会	地域食堂 「みんなの 食堂」	・試行 ・実施内容及び 場所の検討	・担い手の募集 ・実施内容の見 直し ・定期的な開催	・定期的な開催		
	目的別教室		・既存講座の情報 収集 ・実施内容の検 討 ・防災教室の開 催	・開催頻度の検 討 ・試行実施 ・防災教室開催 エリアの拡大	・定期的な開催	
公共施設 部会	公共施設部会 での意見交換		・公共施設部会 の設置 ・市との情報共 有			

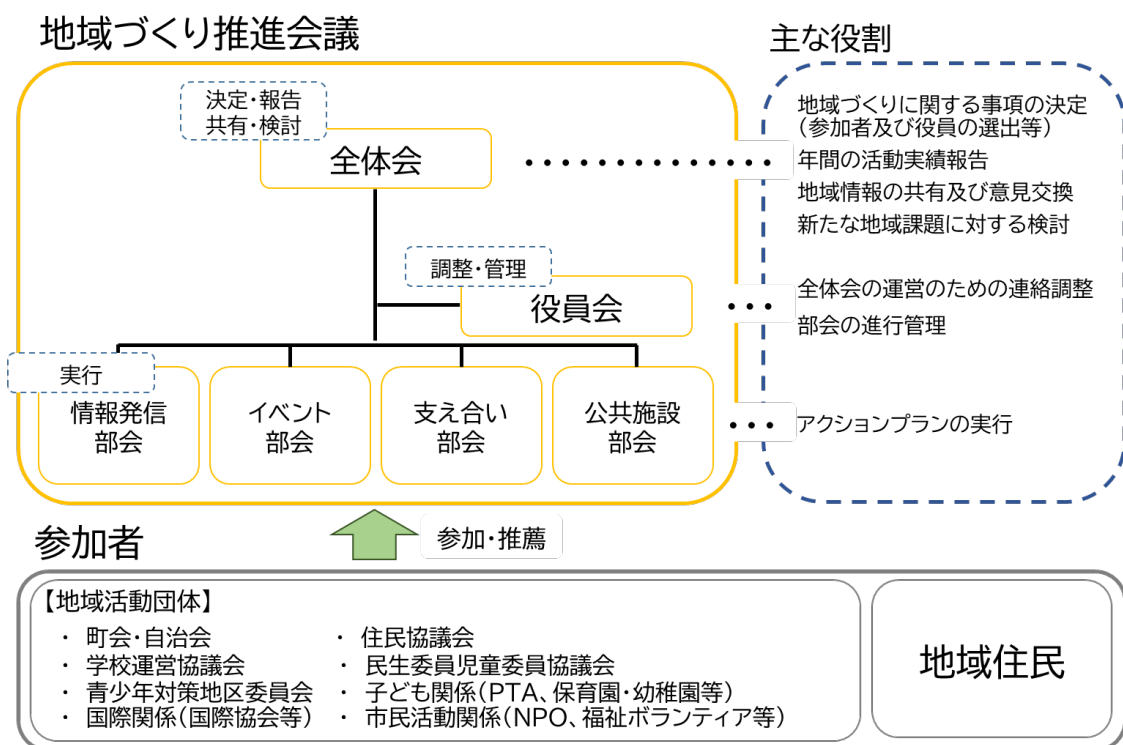
※ 各部会を含めた推進会議の体制は、P19に掲載しています。

7 地域づくり推進体制

地域づくりを進めていくうえで重要な役割を担う推進会議は、多世代・多分野にわたる地域の活動団体や住民が参画し、自分たちでやりたいことを実現していく「地域のプラットフォーム」となることを目指していきます。

地域づくり推進体制は、以下のとおりです。アクションプランごとに設定する部会を中心に、地域の活動団体や住民が横のつながりを持ち、地域全体、または地域と行政の協働によって取り組んでいきます。

【地域づくり推進体制】



8 資料編

(1) 地域づくり推進会議参加者

(五十音順)

氏名	肩書き	推薦団体等
縣 純子	青少年対策長房地区委員会 副会長	青少年対策地区委員会
宇田 友子	船田小学校学校運営協議会 会長	地域住民
大田原 栄里花	長房小学校PTA 会長	地域住民
大塚 英生	長房西保育園 園長	地域住民
管野 麻衣	長房小学校PTA 会計監査・放課後子ども教室担当	長房小学校PTA
高坂 幸宏	長房小学校PTA	地域住民
坂本 博美	元長房中学校PTA 会長	地域住民
清水 隆	保護司	八王子地区保護司会
鈴木 比呂志	長房ファーム 代表	地域住民
竹下 夕紀	自営業	地域住民
塚本 吉紀	長房中学校学校運営協議会 会長	学校運営協議会
中嶋 幸子	民生委員児童委員第12地区 委員	民生委員児童委員協議会
仁科 真江	船田小学校PTA 副会長	船田小学校PTA
西山 典明	都営長房西アパート連合自治会 会長	町会自治会連合会
野副 弘毅	長房中学校PTA 会長	長房中学校PTA
本堂 房雄	長房小学校学校運営協議会 委員	地域住民
松崎 節子	船田小学校PTA 会長	地域住民
松葉 浩充	長房地域住民協議会 会長	住民協議会
森 秀三	長房小学校学校運営協議会 会長	地域住民
森本 昌樹	長房小学校PTA 会長補佐	地域住民
山陰 秀子	ひまわりサロン長房 代表	福祉団体
山中 馨	市民活動協議会 会員	市民活動協議会
渡辺 隆男	長房小学校放課後子ども教室 「すまいる」代表	地域住民

(2) 令和4年度(2022年度)の活動概要

名称	開催日程	開催場所
第1回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)5月22日(日)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
第2回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)6月25日(土)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
第3回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)7月30日(土)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
第4回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)9月3日(土)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
第5回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)10月16日(日)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
地域フォーラム	令和4年(2022年)11月13日(日)	長房市民センター 体育室
第6回 地域づくり推進会議	令和4年(2022年)12月10日(土)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム
第7回 地域づくり推進会議	令和5年(2023年)2月4日(土)	長房小学校 北校舎1階 プレイルーム

【活動風景】



(3) 長房中学校区(長房町・城山手)の地域づくりに関するアンケート調査

■ 調査名

長房中学校区(長房町・城山手)の地域づくりに関するアンケート調査

■ 調査目的

地域の意見を「地域カルテ」などに反映するとともに、「長房中学校区地域づくり推進会議」での検討状況や活動内容の周知

■ 調査設計

(1) 調査対象: 長房中学校区に在住、または関わりがある方

(2) 配布枚数: 約1,250枚

(3) 調査方法: ①アンケート用紙

※長房中学校区地域づくり推進会議参加者が各所属団体等にアンケート用紙を配布し、回収

②インターネット

※二次元コード及び URL から本人が回答

(4) 調査期間: 令和3年(2021年)11月10~26日

■ 調査項目

● 共通項目

(1) 長房中学校区全体に発信したい地域の魅力

(2) 普段の生活のなかで入手したい情報

(3) 地域の役立つ情報の入手方法

● 子ども向け項目 ※項目によって、ご家族が子どもの視点で回答されている可能性があります。

(1) 長房の好きなおところ

(2) 長房にあったら良いもの

(3) 長房にあったら良い活動

■ 回答結果

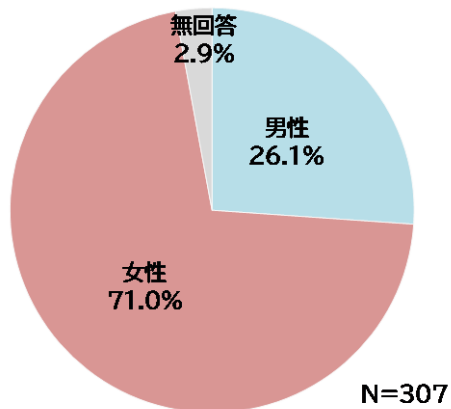
有効回収数: 合計307件(有効回収率24.6%)

回収方法内訳: アンケート用紙による回答:242件

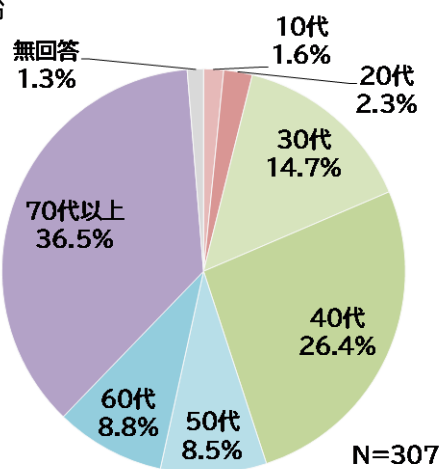
インターネットによる回答:65件

回答者の属性

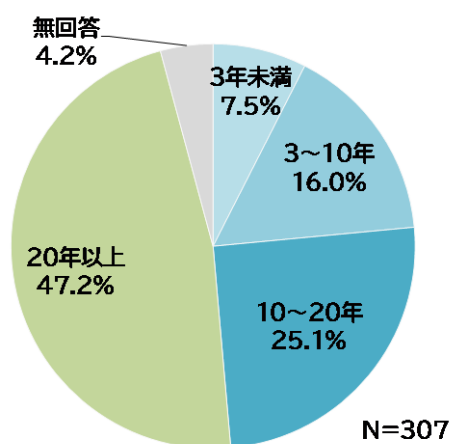
性別



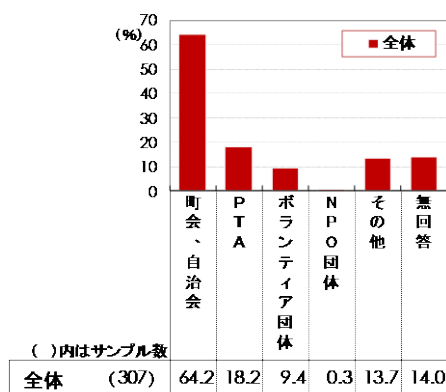
年齢



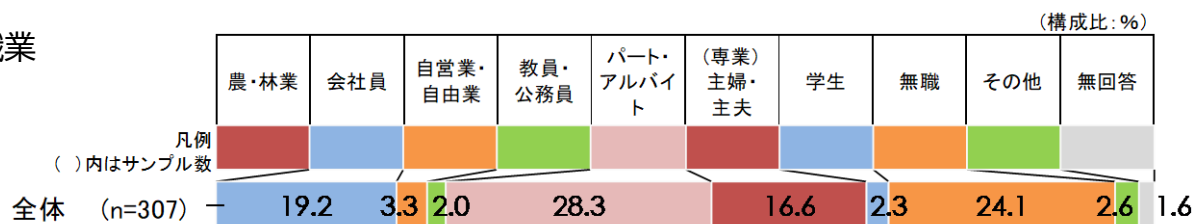
居住歴



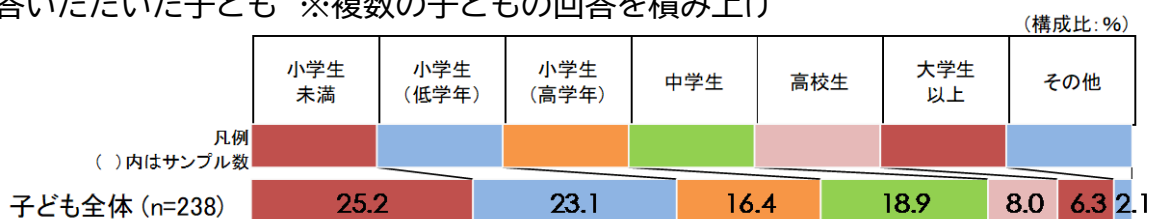
所属団体(複数回答)



職業



回答いただいた子ども ※複数の子どもの回答を積み上げ



※割合・構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100%にならない場合があります。

調査結果の概要

【共通項目】

(1) 長房中学校区全体に発信したい地域の魅力

自然に恵まれた環境の中、便利で豊かな暮らしができること、
人情味あふれた人が暮らし、地域のイベントや地域の歴史が大切にされていること

魅力については、「自然が豊か」、「四季折々の美しい風景」、「公園が多い」などの【自然・環境】に関することが42.8%と最も高く、次いで「住みやすい」、「のどか」、「便利」、「アクセスが良い」、「住んでいる人が魅力」などの【暮らし】に関することが21.9%となっている。また、「新しい商業施設」、「昔からある商店街」などの【商業施設・お店】が16.7%となっている。

その他として、「国史跡船田石器時代遺跡」や「多摩御陵」などの【歴史】に関すること、「地域の催し」、「散策コース」などが挙げられている。

(2) 普段の生活のなかで入手したい情報

「災害拠点及び避難場所」、「地域の年間行事」の情報のニーズが高い

入手したい情報については、「災害拠点及び避難場所」が53.7%と最も高く、次いで「地域の年間行事」が38.4%、「地域の歴史・文化」が33.2%となっている。

年代別にみると、「公園の配置図」は20～40代の割合が高くなっており、20代は85.7%となっている。また、「市民活動(サークル・サロン)の状況」は年齢層が上がるにつれて割合が高くなっており、70代以上は38.4%となっている。

その他として、「防犯情報」、「子どもに関するイベント情報」などが挙げられている。

(3) 地域の役立つ情報の入手方法

「地区の広報誌」、「地区情報をまとめたWebサイト」、「SNSでの配信」の順で
ニーズが高い

情報の入手方法については、「地区の広報誌」が65.8%と最も高く、次いで「地区情報をまとめたWebサイト」が36.8%となっている。

年齢別にみると、「地区情報をまとめたWebサイト」は10～40代の割合が高くなっており、10代は60.0%となっている。また、「地区の広報誌」は60～70代以上の割合が高くなっており、特に60代は92.6%となっている。

その他として、「知人や友人」、「直接」などが挙げられている。

【子ども向け項目】

子ども向けの質問については、小学生未満が25.2%と最も多く、小学生(低学年)が23.1%、小学生(高学年)が16.4%、中学生が18.9%、高校生以上が16.4%という構成であった。

(1) 長房の好きなところ

公園が多く緑が多いこと、お店や楽しめる場所があること、近所の人や友達と親しめること

好きなところについては、「公園がいっぱいある」、「公園が好き」などの【公園】に関するものが23.6%と最も高く、次いで、「自然が残っている」、「自然が豊か」などの【自然】に関するものが23.0%となっている。

その他として、「人の魅力」、「商業施設・お店」、「祭り・イベント」などが挙げられている。

(2) 長房にあったら良いもの

公園、遊べる場所、学習スペースなど、普段から気兼ねなく居られる場所が欲しい。スポーツをもっと楽しみたい。お店や飲食店、レジャー施設等、楽しめる場所が欲しい

あったら良いものについては、「遊具がある公園」、「スポーツ施設」などの【公共施設】に関するものが40.3%と最も高く、次いで「すべり台やブランコなどの遊具」、「街灯」などの【設備】に関するものが26.2%、「本屋」、「スポーツ用品店」などの【商業施設】に関するものが同様に26.2%となっている。

その他として、「体験教室」、「地域を知ることができるマップ」などが挙げられている。

(3) 長房にあったら良い活動

みんなで楽しむ活動や町を良くする活動へのニーズが高い

あったら良い活動については、「体験イベント」、「運動会、スポーツ」などの【みんなで楽しむ活動】に関するものが80.9%と最も高く、次いで「街のクリーンキャンペーン」、「あいさつ運動」などの【町を良くする運動】に関するものが11.7%となっている。

その他として、「地域の歴史等の講座」、「地域の人と関わる機会」などが挙げられている。

長房中学校区(長房町・城山手)の地域づくりに関するアンケート調査 回答票

1 あなた(回答者)について教えてください

(1)年齢 (○は一つだけ)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70歳以上
(2)性別 (○は一つだけ)	1. 男性 2. 女性 3. あてはまらない
(3)長房の居住歴 (○は一つだけ)	1. 3年未満 2. 3～10年 3. 10～20年 4. 20年以上
(4)職業 (○は一つだけ)	1. 農・林業 2. 会社員 3. 自営業・自由業 4. 教員・公務員 5. パート・アルバイト 6. (専業)主婦・主夫 7. 学生 8. 無職 9. その他()
(5)所属団体 (あてはまるものすべてに○)	1. 町会、自治会 2. PTA 3. ボランティア団体 4. NPO団体 5. その他()

2 長房中学校区(長房町・城山手)の地域カルテについて

問1 あなたが多くの人に発信したい長房中学校区(長房町・城山手)の魅力を教えてください。
(自由記述)

記載例 美味しいスイーツのお店がある / 写真映えするスポットがある

--

問2 普段の生活のなかでどのような情報があったら良いと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 地域の歴史・文化 2. 四季 3. 地域の年間行事
4. 地域団体の活動状況 5. 市民活動(サークル・サロン)の状況
6. 施設拠点の分布 7. 公園の配置図 8. 災害拠点及び避難場所
9. 人口データ 10. 地域の相談窓口 11. その他()

問3 地域の役立つ情報はどのような方法で入手したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 地区の広報誌 2. メール配信 3. 地区情報をまとめたWebサイト
4. SNSでの配信 5. その他(具体的に:)

共通の質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同居する23歳以下のお子様がいいらっしゃる方は、2ページ目の質問に引き続きご協力をお願いします。

3 お子様向けの質問について(必要に応じてご家族のご協力をお願いします。)

問1 ご回答いただけるお子様にあてはまる項目を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1.小学生未満	2.小学生(低学年)	3.小学生(高学年)	4.中学生	5.高校生	6.大学生以上	7.その他()
---------	------------	------------	-------	-------	---------	----------

問2 長房の好きなところを教えてください。(自由記述)

【記載例】 項目:1.小学生未満 ※ 数字のみでご回答いただいても構いません。

内容:公園がいっぱいある / 地域みんなが仲よし

<1人目>

<2人目>

<3人目>

項目:	項目:	項目:
内容:	内容:	内容:

問3 長房にどのようなものがあったら良いと思いますか。(自由記述)

【記載例】 内容:自主学習できる場所がほしい/公園に大きなすべり台がほしい

<1人目>

<2人目>

<3人目>

内容:	内容:	内容:
-----	-----	-----

問4 長房にどのような活動があったら良いと思いますか。(自由記述)

【記載例】 内容:みんなで運動会をしたい/みんなでお花見をしたい/サッカーチーム

<1人目>

<2人目>

<3人目>

内容:	内容:	内容:
-----	-----	-----

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**長房中学校区地域づくり推進計画
令和4年度(2022年度)改定版**

令和5年(2023年)3月

発 行 長房中学校区地域づくり推進会議

編 集 八王子市 未来デザイン室

所在地 〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号

電 話 042-620-7307 FAX 042-627-5939